

(様式2)

## 管理運営状況等の評価シート(令和4年度分)

施設所管課	健康福祉課
-------	-------

### 1 指定管理者施設概要

施設名	名称	上三川ふれあいの家ひまわり
	所在地	上三川町大字上三川5082番地15
指定管理者	名称	社会福祉法人こぶしの会
	代表者名	理事長 藤田 勝春
	住所	栃木県宇都宮市柳田町1401番地
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	

### 2 利用実績等

#### (1) 利用実績

##### ① 契約者数(※)

(単位:人)

区分	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	3月末契約者数	
															町内	町外
生活介護	22	28	28	29	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28.2	15	13
就労継続支援B型	18	21	21	20	20	20	20	19	19	19	18	18	19	19.5	14	5
地域活動支援センター	10	11	12	10	10	12	9	9	10	10	10	11	10	10.3	19	0
日中一時支援	5	7	6	6	7	6	6	6	7	6	6	7	6	6.3	8	9
相談支援事業		22	18	22	22	22	24	22	24	24	20	24	23	22.3		
合計	55	89	85	87	88	88	87	84	88	87	82	88	86	86.6	56	27

※ 契約者のうち、月に1回以上サービスを利用した者の数

##### ② 利用件数(日数)

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	445	441	506	472	422	412	479	461	422	439	407	430	5,336
就労継続支援B型	354	348	402	395	386	359	411	379	324	352	332	361	4,403
地域活動支援センター	75	63	78	48	45	57	66	81	58	83	72	89	815
日中一時支援	83	75	78	70	69	75	72	71	65	65	66	74	863
相談支援事業	117	103	131	97	99	113	99	111	111	117	98	115	1,311
合計	1,074	1,030	1,195	1,082	1,021	1,016	1,127	1,103	980	1,056	975	1,069	12,728

##### ③ 開館日数

(単位:日)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度	21	21	22	22	22	21	23	21	21	21	19	22	256
備考	開館日数: 258日 相談地活お盆2日												

(2) サービス改善の状況

生活介護：居場所作りを実施しながら落ち着いて過ごすことができる空間を意識した。怪我に繋がるような事故を未然に防ぐため職員間の連携を高め、なにかあればすぐに会議を実施。法人内介護研修等伝達研修を行いながら介護技術向上目指しスキルアップを図ることができた。

B型：生産活動の見直しを行う一年となり、縮小や維持の一年となったが、新しい体制を取るうえでは法人内他事業所との連携や学習を取り入れた。利用者の希望を取り入れながら利用者の学習会や余暇活動も取り入れた。工賃での還元を増やすことができなかった分、日々の相談支援なども充実できるよう努力した。

3 管理運営状況

(※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容		指定管理者		施設所管課	
			自己評価	評価意見	評価	評価意見
(1) 基本運営の考え方	1	施設利用者の安全確保に関する事	B	虐待防止研修の実施、支援の見直しを行い、個々のニーズに沿った支援をする中で、安全確保に務めた。日課によっては事故につながりやすい時間帯があるため人的確保と過ごし方の工夫が必要。	B	ケガが起こりやすい時間帯を把握し、その時間帯に職員の人数を増やすことで、利用者が安全に過ごせるよう努めていた。
	2	施設の効率的・弾力的運営に関する事	A	外部講師による活動や、ミュージカルへの参加など感染対策を取りながら実施することができた。	A	人員配置を適宜見直し、弾力的な施設の運営に努めていた。
	3	就労及び生産活動の拡大に関する事	B	法人内生産活動の連携体制の見直しを行い、新たな仕組みを作るための準備を行った。そのため拡大はせず、維持の年となった。	B	売上は減少しているが、適切な量の確保はできていたとの事。同法人内で、製造や販売などそれぞれに力を入れている事業所の特性を活かして、連携を図りたいとの事から、今後ひまわりで力を入れていくという製造部門を拡大できるよう、努めていただきたい。
	4	利用者工賃の向上に関する事	B	3、にある通り、拡大はせず、見直しを行いながら維持の年としたため、工賃の向上には至っていない。	B	コロナ禍における工賃向上への改善は難しかったと思うが、その中で支出を減らす努力をしていた。工賃に関しては、(1)の3にある通り、法人内で工夫し、生産を安定させ、アップに繋げていただきたい。
	5	利用者の福祉の増進に関する事	A	日々のコミュニケーションを大切に、定期的なモニタリングを行い、ニーズや思いを確認し支援に反映するよう努力をした。自治会活動では、利用者が主体となりひまわりでの生活を充実させるべく会議の開催・アンケート実施・余暇活動の企画を行い感染対策をしながら実施した。	A	利用者アンケート結果をふまえ、利用者家族との対話の機会を設けるなど、利用者サービスの向上に努めていた。

(2) 施設・設備の維持管理	6	建物・設備等の保守点検に関する事 こと	A	年間予定の通り実施することができた。	A	仕様書どおり履行できていた。
	7	備品の管理に関する事 こと	A	台帳に基づいた管理ができた。	A	台帳に基づいて適切に管理できていた。
	8	清掃及び樹木剪定業務に関する事 こと	A	仕様書に基づき、専門業者へ委託して実施した。	A	仕様書どおり履行できていた。
	9	警備業務に関する事 こと	A	機械警備の実施。駐車場においての事故は継続して懸念される。	A	仕様書どおり履行できていた。
	10	廃棄物(ごみ)の減量等処理に関する事 こと	A	委託業者に適切に処理を依頼。リサイクルも継続して実施。	A	仕様書どおり履行できていた。
	11	厨房・浴室等衛生管理業務に関する事 こと	A	仕様書に基づき、専門業者による館内消毒、害虫駆除の実施。また、使用後には支援員による消毒も欠かさず実施した。	A	仕様書どおり履行できていた。
	12	公共料金の支払いに関する事 こと	A	滞りなく実施できた。	A	帳票から適切に実施できていることが確認できた。
(3) 利用者サービス向上の取組み	13	利用者の実績に関する事 こと	A	サービス管理責任者を中心に管理した。	A	多くの利用者を受け入れる体制を整えた。
	14	利用しやすい受付案内の実施に関する事 こと	A	年間予定、月間予定の配布。事業計画説明会を実施。	A	説明会の実施や施設の利用案内の設置など、利用者案内の向上策を実施していた。
	15	適切な利用情報の提供(広報・PR)に関する事 こと	A	月報の配布。また、店舗商品に関することや活動に関することをSNSで継続的に発信した。	A	事業の周知に努めていた。
	16	サービス水準の確保に関する事 こと	A	モニタリング実施、個別支援計画書作成、支援会議、事業別会議、リハ会議の実施。また、事業所全体での研修や事業別研修を実施し、スキル向上に努めた。	A	職員会議を定例化し、職員間の情報共有や資質の向上に努めていた。
	17	個人情報の保護に関する事 こと	A	規程に基づき鍵付き書庫にて管理できた。	A	適切な管理ができていた。
	18	利用者の意見を把握する仕組みの構築に関する事 こと	A	施設利用アンケート、給食アンケートの実施と回答を行った。連絡帳や送迎時、電話などで随時、話をすることを心がけた。	A	利用者アンケートを実施し、利用者の声の把握に努めた。
	19	業務仕様書に掲載した事業の実施に関する事 こと	A	実施できている。	A	仕様書に沿った運営ができている。

	20	その他運営上必要な業務に関する事 こと	A	日常的なコミュニケーション(モニタリング、送迎時、連絡帳、電話等)を積極的にとり、情報共有に努めた。	A	施設の実態に合った運営の見直しに努めていた。
(4) 職員・管理体制	21	関係法令等の遵守に関する事 こと	A	遵守できている。	A	遵守できている。
	22	仕様書に規定された職員の配置に関する事 こと	A	配置できている。事業目的のため、加配部署あり。	A	基準よりも多くの職員配置がされている。
	23	利用料金の徴収に関する事 こと	B	遅滞がある利用者の家庭状況を確認し、可能な範囲で再請求を継続的に実施した。改善されつつあるが、一部遅滞されている方もいる。	B	貧困家庭にみられる滞納であるが、適度な再請求、徴収に努めている。R5から手数料がかかるため、各家庭の負担を考えて口座振替を推奨している。
	24	危機管理体制の構築に関する事 こと	A	コロナ禍であり、消防署の立ち合い不可であったが、地震も想定した避難訓練を実施した。危機管理委員会を組織し、会議開催と業務継続計画の策定を行い、内容の周知を図った。	A	風水害の発生時や事故発生時のマニュアルが整備されており、利用者が安心して施設を利用できる環境を整えた。
	25	事業報告書等の提出に関する事 こと	A	毎月の提出ができていた。	A	期日までに提出ができていた。
	26	職員の研修に関する事 こと	A	各部署で専門研修への参加、法人内の定期研修、事業所内の学習会や研修を実施してきた。法人内の研修に関しては、動画で共有や事業所内での研修を実施し振り返りを行った。	A	新任研修や専門研修を実施し、障がい者支援の質の向上に努めた。
	27	指定管理料の執行状況に関する事 こと	A	適切に執行している。	A	執行に問題はなかった。
	28	①適切な経理書類の作成	A	法人本部事務センターにて適切に実施。	A	事務センターで作成した帳簿を確認し、適切に作成されていることが確認できた。
	29	②経理を担当する従事者の配置	A	法人本部事務センターにて適切に実施。	A	適切な経理処理が確認できた。
	30	③伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A	法人本部事務センターにて適切に実施。	A	事務センターで作成した帳簿を確認し、適切に管理されていることが確認できた。
	31	収入及び支出額(収支決算の状況)に関する事 こと	A	法人本部事務センターにて適切に実施。	A	事務センターで作成した帳簿を確認し、適切に管理されていることが確認できた。

(5)  
収支状況

32	事業計画の目標達成度に関すること	B 生活介護:医療的ケアを必要とする方の受け入れ態勢は看護師の確保、医療機関との連携など新たに開拓していくことは難しかった。 B型:事業所単位での事業計画から法人内事業所の連携体制を作るための準備を行う年となった。少しずつではあるが、目的と計画に沿った仕組みを作るための準備を行うことができた。	B 生活介護:法人として医療的ケアを必要とする人の、町での受け入れ先の必要性を感じており、受入間口の拡大に努めている、受入態勢が整えられるよう、引き続き努めていただきたい。 B型:法人内で連携を図りつつ、職員の質をたかめていきたいとの事から、生産性、工賃アップにつながるよう、努めていただきたい。
33	収入確保及び経費節減への取組に関すること	B 感染症の感染者が出ると、感染対策を実施し利用を促したが、不安から休みを選択される方がいた。 特別支援学校での事業所説明会参加や、学生の実習受け入れを行い、新規利用者獲得の動きに繋げるようにした。	B コロナウイルス感染症に関しては、個々の対策のため、利用を勧めることも難しかったと思われる。

	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
総合評価	<p>〔努力した点・具体的な成果〕</p> <p><b>生活介護:</b>利用者一人一人に合わせた対応を心掛けながら日々の作業、活動を組み立てた。 理学療法士、作業療法士より継続したりハビリを受け、看護師や支援員も加わる形でのリハビリの充実を図ることができた。合わせて作業場面や身体介助等の場面においても専門的な立場でのアドバイスをもらい、工夫した形で行うことにより、介助される側と介助する側の負担軽減を図ることができ、介助のやり方等を定着していく事が出来た。 行事等もタイミングをみながら再開し、日課の中でメリハリをつけ、取り組むことができた。</p> <p><b>就労継続支援B型:</b>店舗運営に関しては、商品内容の見直しを行い、総菜製造の終了、パン製造に力を入れた。年度当初は総菜を目当てに来店されていたお客様が離れ売り上げの減少も見られたが、根気強く品質の安定、新商品の開発に取り組み、夏を過ぎると売り上げも回復してきた。 農業関連に関しては、農地を借りて通常農業から有機栽培に移行すべく、見学や学習を行いながら実験的に低農薬・無農薬栽培取り組んだ。利用者の「働く」をより職業として専門的な技術を持てるよう、職員とともに野菜の生産を行った。また、地域の農家さんから下請け作業として二の包装作業を受託し、昨年度同様安定した作業を行うことができた。就労支援だけでなく生活支援の重要性がより一層見えたが、「働く」ことへの支援に重きが置かれてしまい、利用者への支援の充実(生活支援)が課題として残ってしまった。</p> <p><b>地域活動支援センター:</b>利用者間のコミュニケーションを大切に声を掛け合ったり、手助けをしながら調理実習等行うことができた。毎月実施できるものは実施できる回数を増やし、イベントとして福祉祭りへ参加し販売も行った。毎年行っている行事も形を工夫しながら行うことで季節感を体感してもらう事ができていた。</p>		<p>〔評価すべき点〕</p> <p>全体的に、利用者を第一に考え、事故を未然に防ぐこと等安全への配慮がなされている。 人員も基準より多く配置されており、日々状況を見極め改善されているところが評価される。 新型コロナウイルス感染症予防もあり、衛生面には特に気を遣い、専門業者による消毒や害虫駆除を行っていることは、食品のパンを扱う事業所として安心して提供できる環境を整えることができています。 パンの製造には、職員の支援は不可欠だが、“利用者自身が働く”ということに視点を向け、本来の目的に近づけるよう努力がみられた。 指定管理業務外の委託業務である地域活動支援センターでは、利用者の居場所として毎日の活動内容やイベント等の企画に取り組みされており、今後も同様に続けていきたい。</p>	
	<p>〔改善すべき点〕</p> <p><b>生活介護:</b>職員の学習する機会を設け意思決定支援の充実。 介助を要す利用者の介助場面以外において関わりを持てるような余裕を持たせた日課の組み立て。作業内容の開拓。 <b>就労継続支援B型:</b>生産力向上のため、法人内事業所連携で経済循環システムの試験的实施。職員の専門的学習、利用者支援力の強化。 <b>地域活動支援センター:</b>楽しみにつながるイベントや日常プログラム作り。</p>		<p>〔改善指導すべき点〕</p> <p>現在進めている事業所内連携をぜひ実施し、工賃アップに繋げていただきたい。 職員研修を行うことにより、スタッフの質の向上や利用者支援に反映できるのであれば、学習する機会を設け職員一体で引き続き取り組みに努めていただきたい。それにより更に質の高まった支援が提供できると思われる。</p>	

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優良)協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良好)協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含)協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善)協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指しま

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている